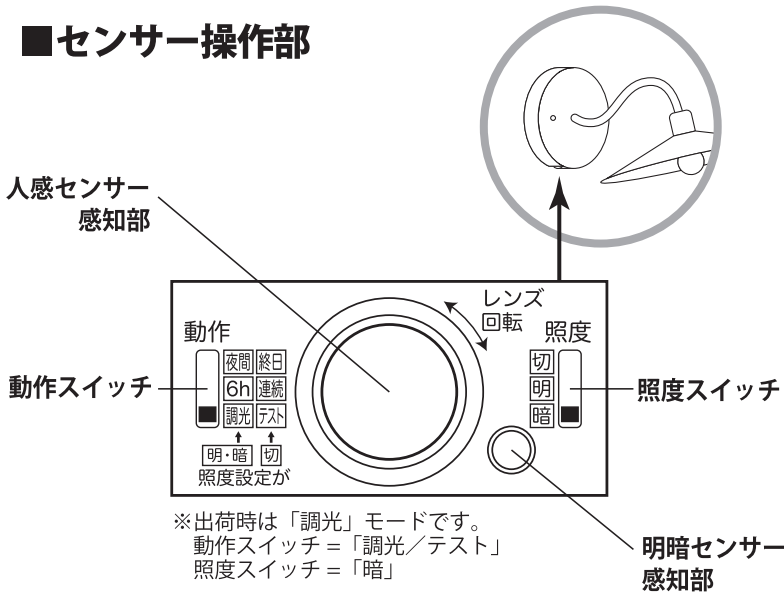


Atelier Key-men 人感センサーライト取扱説明書

■センサー操作部

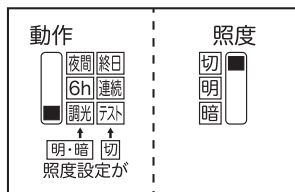


安全上の注意事項

⚠ 警告	<ul style="list-style-type: none"> 器具を改造しないでください。火災、感電の原因になります。 器具の隙間や放熱穴に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。火災、感電の原因になります。 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。異常状態がおさまったことを確認し、販売店または弊社にご相談ください。
⚠ 注意	<p>お手入れの際は水洗いしたり、スプレー式洗剤などを直接かけたりしないでください。火災、感電の原因になります。汚れは、よく絞った柔らかい布で拭きとってください。その際、シンナーなどの揮発性物質は使用しないでください。</p> <p>明るく安全に使用していただくために定期的に清掃・点検をおこなってください。 不具合がありましたらそのまま使用しないで工務店・電気店に修理を依頼してください。</p>

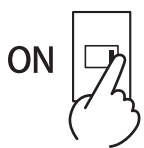
■点灯のテスト（周囲が明るくてもテストできます）

(1) 設定スイッチを下図の設定（テストモード）にしてください。



⚠ 「調光」「6h 調光」モードで明暗センサーのテストをおこなうとタイマーがスタートし消灯しなくなります。
⇒一旦壁スイッチを切るか、「動作スイッチ」または「照度スイッチ」のポジションを変えると消灯します。

(2) 電源を入れ、消灯するまで感知エリアの外に出てください。
(センサーからの距離は4mが目安です。スペースがない場合は物陰に隠れてください)



強制点灯
(最大40秒間)

消灯

消灯しない場合は以下を確認してください。

- ・感知エリアから出ていない
⇒もう少し離れる
- ・感知エリア内に感知するものがある
⇒原因を取り除くかエアーマスクを取り付ける

この間に人を感知すると点灯時間を延長します

(3) 照明が消灯したら感知エリアに入り、点灯するか確認してください。
(感知エリアに入ると照明が点灯し、エリアを出ると約5秒後に消灯します)

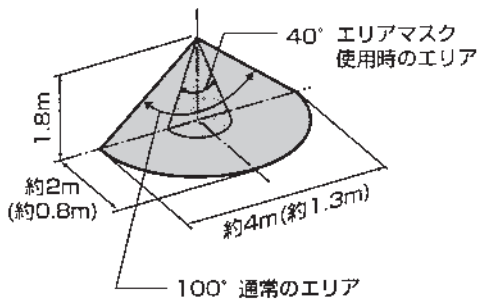
(4) テスト完了後は P3 ■センサーのはたらき を参照の上、モードを設定ください。

■感知範囲

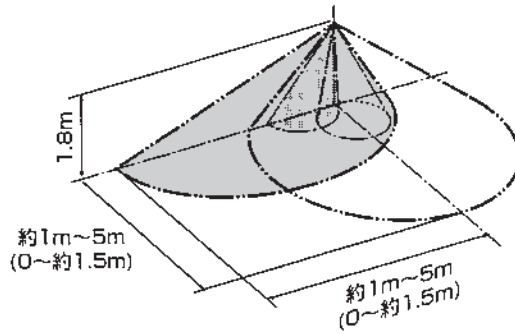
◆感知範囲図 <取付高 1.8mの場合>

範囲は周囲環境や侵入方向、服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。

※()内はエアーマスク使用時



感知部を真下に向けた場合



感知部を動かした場合

※感知部はすべての方向に 20° 動きます。

※人感センサーは熱の動きを感知して作動します。

エリア内に人がいても、動きが少なくなると照明が消灯してしまうことがありますが、体を動かすと再度点灯します。また逆に、人以外の熱源が動いた場合も作動することがあります。(ペットや車など)

*通りに近い場所にご使用の場合は、車や歩行人が感知エリアに入らないように調整してください。

*無線などによる電波障害でも作動することがあります。

*感知部が汚れると作動しにくくなりますので、柔らかい布で拭いてください。

付属品
エアーマスク



【エアーマスクについて】

取り付けると、40°の範囲で熱感知を行います(上図参照)。感知部を狭くしたい場合にご使用ください。

【取付方法】

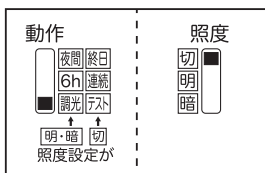
エアーマスクの2本のツメと感知部の凹みを合わせ、はめ込んでください。

◆感知エリアの確認方法 (周囲が明るくても確認できます)

※電源(壁スイッチ)を入れると約40秒間の強制点灯になります(この間に人を感知すると点灯時間を延長します)。

※強制点灯終了後にエリアの確認ができます。

- (1) 設定スイッチを下図の設定(テストモード)にしてください。



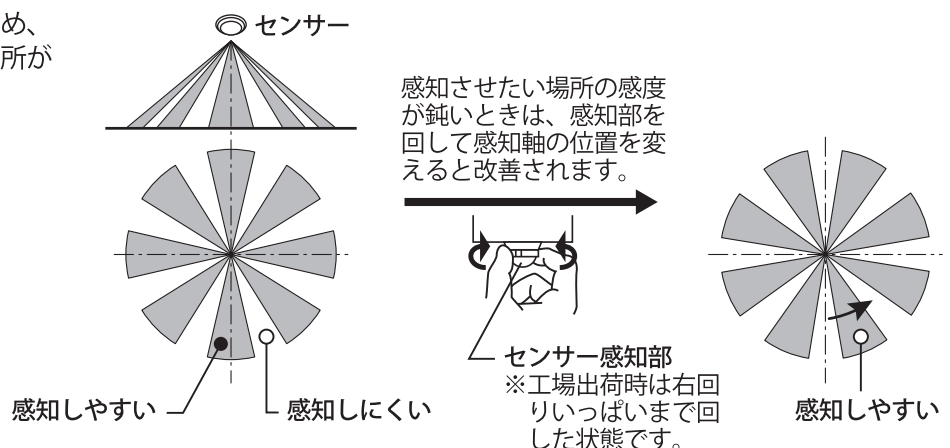
- (2) 感知エリアを出てください。感知エリアを出ると約5秒後に消灯します。

- (3) センサー周辺を歩いてください。感知エリアが広すぎる場合にはエアーマスクを取り付けてください。

- (4) 確認後は、照度スイッチを「明」または「暗」に戻してください。
モードの設定は P3 ■センサーのはたらき をご参照ください。


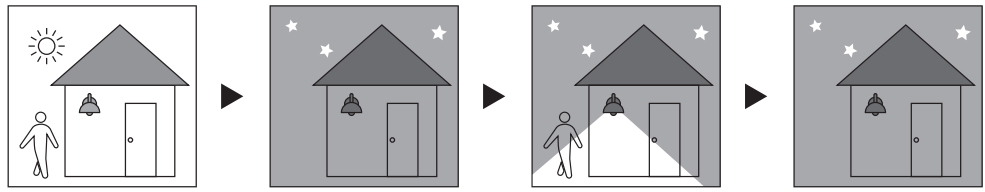

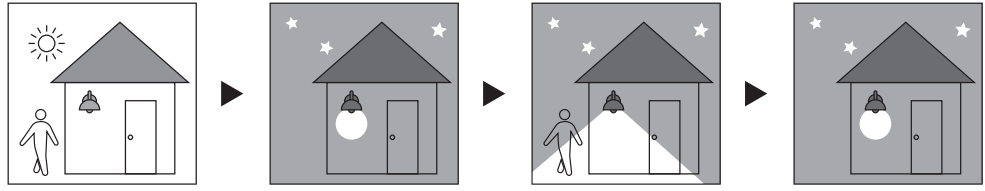
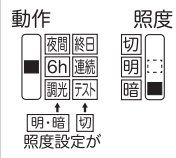

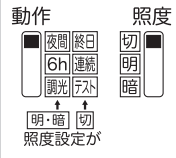
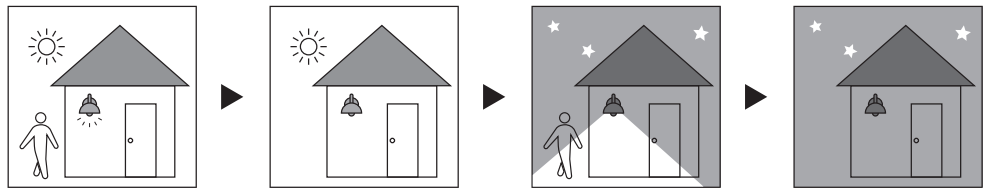
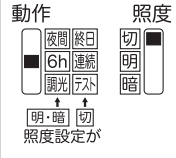
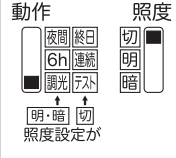
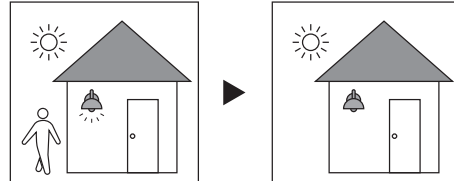
◆感知エリアの微調整 (感度が鈍いと感じたとき)

感知エリアは感知軸の集合のため、感知しやすい場所としくい場所があります。(図はイメージ)



■センサーのはたらき ※動作スイッチで6つのモードから選択できます。

壁スイッチは通常 ON のままご使用ください。ON にした直後は強制点灯します。
 停電復帰後や誤動作をリセットするために電源を入れ直した場合にも同様です。

<p>夜間オン/オフ</p> <p>動作 照度</p>  <p>動作 = 夜間 照度 = 明 or 暗</p>	 <p>周囲が明るい間は点灯しない。</p> <p>暗くなくても照明は消灯したままで人感センサーが待機。</p> <p>人が近づくと100%点灯。</p> <p>人がいなくなると約1分後に消灯。</p>	<p>明るくなる と消灯</p>	
<p>調光</p> <p>動作 照度</p>  <p>動作 = 調光 照度 = 明 or 暗</p>	 <p>周囲が明るい間は点灯しない。</p> <p>暗くなると10%点灯。</p> <p>人が近づくと100%点灯。</p> <p>人がいなくなると約1分後に10%点灯。</p> <p>※ 調光モードでは点灯開始後、一定時間ごとに一瞬消灯して周囲の明るさを確認します。</p>		
<p>6h調光</p> <p>動作 照度</p>  <p>動作 = 6h 照度 = 明 or 暗</p>	 <p>周囲が明るい間は点灯しない。</p> <p>暗くなってから最初の6時間は調光モード</p> <p>6時間過ぎるとオン/オフモード</p> <p>人がいないときは10%点灯。この間は周囲が明るくなくても消灯しない。</p> <p>人がいないときは消灯。周囲が明るくなると人が近づいても消灯しない。</p>		
<p>終日オン/オフ</p> <p>動作 照度</p>  <p>動作 = 終日 照度 = 切</p>	 <p>周囲が明るくても人が近づくと点灯。</p> <p>人がいなくなると約1分後に消灯。</p> <p>人が近づくと100%点灯。</p> <p>人がいなくなると約1分後に消灯。</p>		
<p>連続点灯</p> <p>動作 照度</p>  <p>動作 = 連続 照度 = 切</p>	<p>照明の点灯/消灯は壁スイッチで行う。</p>		
<p>テスト</p> <p>動作 照度</p>  <p>動作 = テスト 照度 = 切</p>	<p>周囲の明るさに関係なく、昼間でも人を感知すると点灯し、感知なくなると5秒後に消灯。</p>  <p>人が近づくと点灯。</p> <p>人がいなくなると5秒後に消灯。</p>		

■故障かな？と思ったら

	現象	原因	処置
点灯しない	暗くなってもまったく点灯しない (ほんのり点灯もしない)	壁スイッチが OFF になっている	壁スイッチを ON にしてください。
		照度スイッチで設定した明るさより周囲が明るい	点灯照度スイッチが「暗」の場合は「明」にしてください。
		明暗センサー感知部に外部から光があたっている	原因を取り除いてください。
	暗くなっても人を感知しない	感知エリアが適切ではない	エアーマスクがついている場合は外してください。感知部を回して感知エリアの微調整をしてください。 ⇒ P2 ■感知範囲 参照
		人感センサー感知部が汚れている	感知部をやわらかい布でふいてください。
		センサーと人との間に障害物がある (透明なガラスやプラスチックも障害物となります)	障害物を取り除いてください。
感知エリアが狭くなった／感度が鈍くなった	夏の猛暑や冬の冷気により周囲温度と体温(着衣の温度)が著しく近くなった	故障ではありません。そのままご使用ください。 → 平常温度になれば正常に作動します。	
	人感センサー感知部に汚れや水滴が付着している	やわらかい布で汚れや水滴をふきとってください。	
	気象条件によりセンサー内部に結露が発生した	故障ではありません。そのままご使用ください。 → 乾燥した状態に戻ると正常に作動します。	
人がいるのに消灯してしまう	人が静止していたり動きが少ない (人感センサーは熱の動きを感知して作動するため、動きが少なくなると感知できなくなり照明が消灯してしまうことがあります)	体を動かしてください。	
一瞬、消灯することがある	「調光モード」の場合、消灯して周囲の明るさを確認しています(点灯開始後、4時間30分ごとに1秒間消灯を2回、その後は明るくなるまで30分ごとに1秒間消灯します)。正常動作ですので、そのままご使用ください。		
消灯しない(不必要に点灯する)	昼も夜と同じ動作で点灯する	「テストモード」になっている	モードを変更してください。⇒ P3 ■センサーのはたらき 参照
		「終日オン/オフモード」になっている	
		照度スイッチで設定した明るさより周囲が暗い	照度スイッチを「暗」にしてください。
	夜、人がいないのに点灯することがある	周囲が一日中暗い(センサーが一日中夜と判断している)	照度スイッチが「明」の場合は「暗」にしてください。照度スイッチが「暗」の場合はセンサーに向かない環境です。そのままご使用になるか、「連続点灯モード」にしてセンサー機能をオフにしてください。 ⇒ P3 ■センサーのはたらき 参照
		明暗センサー感知部が何かの影になり部分的に暗くなっている	影の原因を取り除いてください。
		昼間、明暗センサー感知部が一時的に暗くなった ・「6h調光モード」の場合は、最大6時間点灯します ・「調光モード」の場合は、最大4.5時間点灯します	周囲が明るい場合は、壁スイッチを5秒以上 OFF にしてから再度 ON にしてください。 → 約40秒間、強制点灯したのち消灯します。 ※周囲が暗い場合は、設定したモードで再スタートします。
100%点灯したまま消灯しない	感知エリア内に人以外の熱源がある (ベット、空調機等の熱源、風でよく揺れる樹木など) (外気の急激な温度変化でも作動することがあります)	熱源を取り除くかエアーマスクを取り付けてください。	
	車や通行人が感知エリアに入っている ・電源(壁スイッチ)を入れた直後 ・停電が復帰した直後(約40秒間強制点灯になります)	エアーマスクを取り付けてください。 約40秒後に消灯します。	
	「連続点灯モード」になっている	モードを変更してください。⇒ P3 ■センサーのはたらき 参照	
朝になってもほんのり点灯している	感知エリア内に空調機や換気扇の出口など、継続的に温度変化を生じさせるものがある ・電源(壁スイッチ)を入れた直後 ・停電が復帰した直後 (最大40秒間強制点灯になりますが、この間に人や熱源を感知すると点灯を延長します)	原因を取り除くかエアーマスクを取り付けてください。 感知エリアから出て他に熱源がないか確認してください。 → 感知しなくなると約1分後に消灯します。	
	「調光モード」、「6h調光モード」で、明け方近くに壁スイッチを入れたり、停電があったりした。	周囲が明るい場合は、壁スイッチを5秒以上 OFF にしてから再度 ON にしてください。 → 約40秒間、強制点灯したのち消灯します。 ※周囲が暗い場合は、設定したモードで再スタートしますのでご注意ください。	
	明暗センサー感知部の汚れが著しい(センサーが常に夜と判断している)	やわらかい布で感知部の汚れをふきとってください。	
6h調光モードの不具合	ほんのり点灯にならない (壁スイッチを入れた後の1回だけほんのり点灯になり、その後はずっとオン/オフで点灯する)	周囲が一日中暗い(センサーが常に夜と判断している)	照度スイッチが「明」の場合は「暗」にしてください。照度スイッチが「暗」の場合はセンサーに向かない環境です。そのままご使用になるか、「連続点灯モード」にしてセンサー機能をオフにしてください。 ⇒ P3 ■センサーのはたらき 参照
	6時間過ぎてもほんのり点灯している	6h調光(タイマー)が再スタートした (タイマー動作中に以下のいずれかがあった) ・壁スイッチを一旦、OFF にした ・5秒以上の停電があった ・照度スイッチのポジションを変えた → 再スタートから6時間後に消灯します。 ※タイマー中は周囲が明るくなっても消灯しません。	周囲が明るい場合は、壁スイッチを5秒以上 OFF にしてから再度 ON にしてください。 → 約40秒間、強制点灯したのち消灯します。 ※周囲が暗い場合は、この操作をしないでください。タイマーが再スタートします。 すぐにほんのり点灯をやめたい場合は動作設定を変えて「夜間オン/オフモード」にしてください。 ⇒ P3 ■センサーのはたらき 参照

上記の処置後も現象が続く場合は、壁スイッチを一旦 OFF にし、5秒以上経ってから ON にしてください。

それでもなお正常に作動しない場合は、電源を切り販売店にご連絡ください。

◆安全上のご注意 — 必ずお守りください —

⚠ 警 告

【火災のおそれがあります】

- ・器具を布や紙などで覆ったりしないでください。カーテンや揮発性物質等、燃えやすいものに近づけないでください。
- ・各器具の表示消費電力以上の電球を使用しないでください。
- ・交流電源をご使用ください。

【感電・やけどのおそれがあります】

- ・器具のすきまに、異物を差し込まないでください。
- ・電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
- ・点灯中及び消灯直後の電球・シェードに触らないでください。また、電球の取り替えは必ず電源を切ってから行ってください。
- ・異常時(煙が出たり、変なにおいがする等)には、速やかに電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠ 注 意

- ・設置箇所が本製品の重量に耐えうるか必ずご確認ください。
- ・本製品に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。感電や火災の原因となることがあります。
- ・風呂場等の湿気の多い場所では使用できません。感電や火災の原因となることがあります。
- ・本製品の保守・お手入れの際、無理に回転させたり、引っ張ったりしないでください。また、振動や衝撃も与えないでください。感電や火災、器具の落下によるケガの原因となることがあります。
- ・本製品の着脱は、両手で丁寧に行ってください。器具の落下によるケガの原因となることがあります。
- ・濡れた手で、本製品の取付けは絶対に行わないでください。感電や故障の原因になることがあります。

⚠ 取付が必要な照明

- ・取付方向は、器具本来の使用方向で正しく施工してください。感電・火災・ケガの原因になります。
- ・電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

⚠ 卓上照明やスタンド照明など

- ・長時間使用されない場合は、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
- ・不安定な場所で使用しないでください。落下・転倒や火災の原因になります。

⚠ 照明器具の寿命について

- ・照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態においては、約8～10年です。外観に異常がなくても電気部品の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
 - ・6カ月に1回定期的に保守、器具点検を行ってください。また、3～5年に1回は有資格者に点検を依頼してください。点検を行わずに長時間使用しますと、まれに、発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。
- ※使用条件
周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。
(JIS C 8105-1 解説による)

- 設置場所は、お子様の手の届かない所をお願い致します。電球部分が高温になりますので危険です。

- 人感センサー付き照明をLED電球へ交換される際は、調光対応のLED電球をご使用ください。又、交換された場合はLED電球の品質により光に散らつき等が生じる事がありますがセンサーの不具合ではございません。

【商品についてのご相談・お問い合わせ】

Atelier Key-men 株式会社

〒529-1564 滋賀県東近江市宮井町363番地
TEL/FAX : 0748-55-3994 E-mail : info@key-men.net

◆保証について

保証期間…保証期間は、商品お買い上げ日（お引渡し日）より1年間です。

保証内容…注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。

※付属電球は消耗品のため保証対象外となります。

保証の免責事項…保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

1. 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷
2. お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
4. 施工上の不備に起因する故障や不具合
5. 日本国内以外での使用による故障及び損傷

製品保証書		お買い上げ日	年	月	日	販売店名および住所・電話番号
お客様	お名前					
	ご住所 〒					
	電話番号					